

学友会報

発行
兵庫県立大学 学友会
神戸市西区学園西町8丁目2-1
電話 078-793-5081

キャンパス間を走るバス

2019年6月15日神戸商科キャンパスにおいて学生や学校関係者など約30人が参加して、兵庫県立大学バス出発式が行われました。

兵庫県立大学バス（県大バス）は、学友会、神商会後援会、姫路後援会、附属中学校PTA、附属高等学校PTAが事業費の一部を負担して運行しています。

大学行事、フィールドワークや実習等の授業に加えて、学生団体によるクラブ活動やボランティア活動等の課外活動まで、幅広く使用できます。

この県大バスが皆様から愛され、走る姿を見かけた方々に好印象を持ってもらえるようなラッピングデザインを4月に学内公募しました。

応募作品24点の中からバスラッピングデザイン当選者は、環境人間学科 環境デザインコース3年生の作品となり、同日、表彰されました。

11月2日～4日には商大祭と姫工祭を行き来するバスが運行されました。



大学を知ってもらおう

在学生の保護者の皆様に各キャンパスへのご理解を深めていただくための大学紹介事業が、ウェルカムキャンパスです。兵庫県立大学と学友会との共催により平成20年度から実施しています。今年度の開催時期は以下のとおりでした。

- 4月 播磨理学キャンパス
- 5月 明石看護キャンパス
- 7月 環境人間キャンパス
- 11月 神戸商科キャンパス
- 11月 姫路工学キャンパス
(写真は理学キャンパス)



知事と語る会



2019年4月18日に、井戸兵庫県知事が姫路環境人間キャンパスに来られ、学部1年生の科目「環境と人間」で講義されました。その後、場所を大会議室に移し、第11回知事と語る会が開催されました。

エコヒューマン地域連携センター、先端食科学研究センター、ゆりのき会からの発表が行われ、質疑応答も活発に行われました。

7年連続でつなぐ襷

兵庫県立大学陸上競技部は2019年11月16日に開催された丹後大学駅伝「第81回関西学生対校駅伝競走大会」に、予選を勝ち抜き7年連続で出場しました。

京丹後市の久美浜・浜公園から宮津市役所までの8区を駆け抜けました。



結果は22校中17位で、残念ながら「シード権獲得」とはなりませんでした。来年度の8年連続出場を目標に新たに進み始めています。

米中関係をどう読み解くか

～国際シンポジウム～

2019年11月18日ホテル阪急インターナショナルにおいて、兵庫県立大学と日本経済新聞社主催のシンポジウム『米中関係と日本～超大国対立の行方～』が開催され、約400名が参加しました。

関西経済連合会の松本正義会長、関西広域連合会長の井戸敏三兵庫県知事の来賓挨拶のあと、基調講演には「日米中―激動の世界をどう生きるか」の演題で福田康夫氏(元首相)が、また「日中の歴史と今後の日米中関係」と題してエズラ・ボーゲル氏(ハーバード大学名誉教授)が登壇されました。

パネルディスカッションでは、五百旗頭 真氏(兵庫県立大学理事長)がモデレーターとなって、エズラ・ボーゲル氏、中西 寛氏(京都大学大学院教授)、呉 軍華氏(日本総合研究所理事)、滝田洋一氏(日本経済新聞社編集委員)のパネラー各氏がご専門の分野で現状を捉え、日本の対応等の今後の考え方を示されました。そして幅広い視野での議論がなされました。

本シンポジウムによって、母校兵庫県立大学の知名度が益々高まっていくことを実感しました。

国際シンポジウム
『米中関係と日本』
～超大国対立の行方～
11月18日(月)
13:30～17:00(17:30受付開始)
会場: ホテル阪急インターナショナル4階「楽苑」(神戸市中央区1-1-1)
ご参加のお申し込みはWEBで!
事前登録料 400円 (税別) 11/8
https://events.nikkei.co.jp/18557/

(日本経済新聞 2019. 12. 3 朝刊 35 面 特集に掲載されました)

OB・OGと語り合おう



2019年8月25日に淡水サロンにおいて“Talk in Summer”を開催しました。県立大学のOB・OG 8名と1～4年生の学生17名が集い、学生生活や就職活動について、ざっくばらんに語りました。OB・OGの体験談のあと、昼

食をはさんでグループディスカッションを行いました。グループ間の移動もあり和やかな会となりました。

11月9日に開催された“OB・OG交流会”も環境人間学部キャリアセンター長、商科キャンパスキャ



リアセンター長、OB・OG 15名、商科・工学・環境の各学部学生20名が集い、「働く価値観」を探索するグループワーク、先輩の経験談や企業情報の収集等と、有意義な会となりました。

《五国豊穡》～県立大学のお宝紹介～



ゆりの木会館

建築年代：大正13年(1924)7月20日

旧制高校時代の建物で、国登録有形文化財です。昔の本館の前面部分だけを保存したのですが、入口に残る石造りのアーチには、風格のある建物であっ

た名残を感じることが出来ます。横板を重ねていく下見張りの外壁が特徴的で、窓には幾何学的な模様が施され、セセッション風な造りになっていますが、換気口や天井の一部には和風のデザインも取り入れられています。